

『ほのぼの広島会』20年の歩み

平成29年11月『ほのぼの広島会』

【01】平成8年10月：発足準備

約15名の有志が集まり『広島市社会福祉協議会・ボランティア情報センター』（以下『ボラセン』と言う）と相談しながら約1年間の準備期間を設定し、様々な団体や活動内容を勉強して『ボランティア活動の継続の難しさ』を実感した。結局、『目立つ活動』よりも『地味な活動』で、『無理なく楽しく』をモットーとした、『継続重視型のボランティア活動』を目指す事になった。このモットーは現在も継続している。

【02】平成9年11月：発足

5名の発起人を含めた正会員13名で発足。『ボラセン』に登録して『ボラセン』の行事に参加。毎月第2土曜日を『月例会日』と定め休会無く20年間継続。その間『ほのぼの新聞（例会議事録）1～240号』を休みなく発行し、過去の活動が欠席会員や新会員に分かるように工夫。現在ではホームページにも掲載。

【1】平成10年2月～『バリアフリー・チェック活動』の開始

観光地、駅、乗り物、球場、その他の『人が集まる施設のバリアフリーチェック活動』を主催し、マスコミ出演や記事報道を80回以上重ね多数の改善を実現した（平和公園内の段差、公衆トイレの段差、案内表示の改善、乗り物での車いすストッパー厳守、その他）。【自主活動：19年間で計23回実施済で継続中】

【2】平成10年4月～『ボラセン活動・参加』を開始

『ボラセン』主催の『交流会』『勉強会』『講習会』『イベント』等のほぼ全てに参加。【要請活動：19年間で計60回以上参加済。継続中】

【3】平成11年6月～『ほのぼのバリアフリー車いすツアー活動』を開始

旅行が難しい移動弱者を『広島市のリフト付き福祉バス』1～2台を借りて、会員による安心介助で『障害者の為の日帰りバス旅行』を主催。【自主活動：18年間で計35回実施済。継続中】（始め頃は自主車両）

【4】平成11年9月～『救命救急訓練活動』を開始

ボランティア活動中にケガや急病が発生しても適切な対応ができるように、日頃からの訓練や勉強会を主催。【自主活動：18年間で計8回実施済。継続中】

【5】平成12年7月～『太田川の川面、その他のバリアフリー点検活動』を開始

国土交通省 太田川工事事務所からの要請による『太田川の川面、その他のバリアフリー点検活動』を実施。【要請活動：5年間で計3回参加。現在は要請が無く中断。要請があれば再開可。】

【6】平成13年6月～『アルミ空缶を収集して車いすを贈呈する活動』を開始

アルミ空缶を収集して高額なスポーツ用車いす（30万円以上）が買える金額まで貯ったら、寄付先指定（広島・車いすダンスくらぶ）で広島市に金銭寄付活動を主催。【支援活動：16年間毎月収集。継続中】

【7】平成13年8月～『ほのぼのバリアフリー・トイレマップ活動』を開始

『広島市繁華街バリアフリー・トイレマップA3版1万枚の無料配布』から始め、平成22年4月から『広島市と宮島の福祉施設や観光写真を掲載したバリアフリー・トイレマップA2版3万枚の無料配布』を主催。【自主活動：16年間で計8版を実施済。継続中】

【8】平成14年8月～『修学旅行生向けの、バリアフリー体験会・指導活動』を開始

『ボラセン』からの要請による『全国からの修学旅行生を対象としたバリアフリー体験会』を実施。【要請活動：5年間で計3回実施済。現在は要請が無く中断。要請があれば再開可。】

【9】平成15年4月～『ボラセン幹事会の幹事活動』の開始

年間約10回の幹事会参加を継続。【要請活動：14年間継続参加済。継続中】

【10】平成16年11月～『ほのぼのバリアフリー潮干狩り活動』を開始

会員『濱本水産(株)』のご協力で、車いす使用者でも安心して楽しく潮干狩りができる活動を主催。【自主活動：13年間で56回開催済。継続中】（本活動は会員のみ限定活動）

【11】平成16年12月～『ふれあいの広場・ボランティア部会活動』を開始

5月3～5日の三日間のフラワーフェスティバル障がい者広場『ふれあいの広場活動』に参加。ボランティア部会代表を10年間継続し年間約6回の幹事会に継続参加。【要請活動：13年間で計13回参加済。継続中】

【12】平成17年8月～『平和記念式典・車いすサービス活動』を開始

広島平和記念式典『車いす介助サービス活動』に参加。【要請活動：12年間で12回参加済。継続中】

【13】平成17年9月～『外国人障がい者の広島観光介助活動』を開始

『ボラセン』からの要請による『外国からの障害者広島観光客の観光車いす介助』を実施。【要請活動：3年間で計2回実施済。現在は要請が無く中断。要請が有れば再開可。】

【14】平成18年6月～『市民活動まちづくり読本・制作活動』を開始

広島市主催のまちづくり読本『まちづくりは人生だ』の著作会議（検討期間30カ月）に参加。平成21年1月に96ページA4版カラー製本で発行済。【要請活動：3年間で計30回参加で終了。要請が有れば再開可。】

【15】平成19年10月～『井上わこ 盲導犬贈呈活動』を開始

盲目歌手『故・井上 わこ 殿』の主導で『盲導犬贈呈活動』を支援し、ボランティアチョコレート販売に協力。現在29頭目贈呈を支援中。【支援（コラボ）活動：10年間で計9回支援済。継続中】

【16】平成20年4月～『中区社会福祉協議会・ボランティア代表者会議活動』を開始

『中区社会福祉協議会』の『ボランティア代表者会議』の副代表として年間約6回の会議および年に一度のボランティア祭りに参加。【要請活動：9年間に9回の『ボランティア祭・車いす体験会』を実施。継続中】

【17】平成21年6月～『広島県社協の行事参加活動』を開始

『広島県社協』からの募集行事に参加。【要請活動：8年間に計8回のイベントに参加済。継続中】

【18】平成22年6月～『ええじゃん・避難所体験会活動』を開始

廿日市市在住の外国人支援団体『ええじゃん』代表 栗林 克行 殿の主導で、主として災害弱者（外国人、中国残留孤児、ろう者、障がい者等）を対象とした『避難所体験会活動』を支援。『ボラセン』勉強会で1回主催。【支援（コラボ）活動：8年間で計6回の体験会を支援済。継続中】

【19】平成23年8月～『世界平和祈念ステージ・ワールドフェスタ支援活動』を開始

世界平和祈念ステージ『ワールドフェスタ』代表 菅 英滋 殿の主導で『ステージ活動』を支援。【支援（コラボ）活動：6年間で計6回のステージを支援済。継続中】

【20】平成27年5月～『ほのぼのバリアフリー野球観戦活動』を開始

障がい者が安心して介助を受けて野球観戦を楽しめる『バリアフリー野球観戦活動』を主催。【自主活動：3年間で計3回開催済。継続中】（本活動は会員のみ限定活動）

【21】平成28年9月～『小学生と保護者向け・車いす介助体験会』を開始

吉島東小学校四年生の生徒と保護者の約100名を対象に、体育館で体育用マットや傾斜台等を利用して模擬的難路を作り『正しい車いす介助法』を指導する活動を実施。【要請活動：2年間に2回開催済。継続中】

【22】平成29年1月～『ほのぼのバリアフリー絵画教室』を開始

障がい者が安心して絵画を学べる『絵画教室』を主催。【自主活動：1年未満だが計8回開催済。継続中】

『ほのぼの広島会』の概要

会員数：40名、（内・障がい者：6名）

主な活動：

- ① バリアフリー・トイレマップの著作、無料配布活動（広島市および宮島周辺）
- ② バリアフリー・車いすツアー活動（中国地方内で、障がい者との日帰りバスツアーの開催）
- ③ 障がい者の外出支援活動（車いす介助活動、および、バリアフリー・チェック活動）

賞罰：

- ① 平成15年11月26日：広島市社会福祉協議会・会長賞【感謝状】（永年継続活動表彰）
- ② 平成16年3月3日：広島市・市長賞【感謝状】スポーツ用車いす寄贈（特定優良活動表彰）
- ③ 平成16年11月24日：広島市・市長賞【表彰状】（永年継続活動表彰）
- ④ 平成17年11月14日：交通バリアフリー大賞【表彰状】（特定優良活動表彰）
- ⑤ 平成18年7月25日：小さな親切運動本部・代表者賞【表彰状】（特定優良活動表彰）
- ⑥ 平成19年11月28日：中国運輸局・局長賞【表彰状】（特定優良活動表彰）
- ⑦ 平成20年11月12日：広島県社会福祉協議会・会長賞【感謝状】（永年継続活動表彰）